

タイ国  
インバウンド関連  
レポート：10 月度  
＜第 7 回報告＞

2021 年 10 月 20 日改定



BANGKOK Porta CO.,Ltd.

ダイジェスト

＜新型コロナのタイ国内 概況 10月20日時点＞

【速報】タイ国コロナ感染 拡大。ピークアウト減少へ。9月から国内規制緩和開始。11月の海外受け入れに向けて。

2021年3月以降、再度タイ国全国規模で感染が拡大し、8月に入り、過去最高一日2万人を越える新規感染者に拡大しました。これらの状況から、7月・8月当初バンコク首都圏中心であった[非常事態宣言]の「夜間外出禁止」「商業施設の閉鎖」など再度の規制強化が全国規模で行われました。

また、タイ政府は、規制強化とワクチン接種の加速化により、8月中旬以降はピークアウトしたととて、9月1日以降の段階的な緩和策実施を行っています。一方実験的な緩和策として7月からプーケットエリア限定とした「プーケット サンドボックス」を開始、海外からの観光受け入れを行い、2カ月で3万人以上の海外客を受け入れました。

また、バンコク・パタヤなど中心とする「海外受け入れ策」を10月予定から11月受け入れに変更し、国内のワクチン接種率を引き上げる対策をとっています。10月は、国内の段階的な緩和が行われ、11月にはタイ人の国内旅行支援策も開始される見込みです。

＜日本国・タイ国の観光再開プロセス・状況＞

日本国

現段階で海外からの観光受け入れプロセスは、発表されていない状況です。タイ人へのビザ発給は「特別な場合」を除いて、停止されています。タイ国からの邦人帰国の強制隔離3日間で9月よりなくなり、自主隔離14日がワクチン接種者など10日に短縮すると発表されています。日本国内の感染減少に伴い、緊急事態宣言の解除と緩和策が出されています。

海外からの受け入れについての情報は、発表されていません。しかし、急速な感染縮小により、国内での制限策緩和を急ぐ動きも見られ始めました。

タイ国

一般には、入国許可証（COE）を取得することと、7日間のASQ隔離を前提にタイ国への入国が許可されています。また、7月「サンドボックス政策」でプーケット・サムイなどの一部リゾートが、隔離無しの海外観光受け入れを再開に続き、11月から、バンコク都などを含む受け入れ再開を目指しています。10月は国内の段階的緩和措置がとられています。

ASEAN諸国⇄日本の入国・隔離条件 2021年10月15日時点

	日本から各地に入国・入境時の隔離		各地から日本入国時の隔離(待機)	
	ワクチン接種済	未接種	認証ワクチン接種済※1	未接種
タイ	7日間 11月より低リスク国は隔離無	10日間 (政府指定ホテル)	10日間 (自宅など) 10日以降の検査で陰性なら待機解除	14日間 (自宅など)
ミャンマー	救護便の利用が認可された場合を除き、外国人の入国は不可。救護便で入国した場合は、ワクチン接種の有無を問わず、政府指定ホテルで11日間の隔離			
ラオス	緊急性がある場合を除き外国人は原則入国不可			
カンボジア	接種の有無を問わず14日間 (政府指定ホテルか承認ホテル)			
ベトナム	7日間 (政府指定ホテル) その後7日間の健康観察	14日間 (政府指定ホテル) その後14日間の健康観察		
インドネシア	8日間 (政府指定ホテル)	入国不可	14日間 (うち検査所指定ホテルで3日間)	
シンガポール	7日間 (政府指定ホテル。条件を満たせば自己指定ホテルか自宅も可)	長期滞在/入取得のワクチン接種者のみ入国可能。短期滞在者は入国不可	14日間 (自宅など)	
マレーシア	14日間 (政府指定ホテルか自己指定ホテル。条件を満たせば自宅も可)	14日間 (政府指定ホテルか自己指定ホテル)	14日間 (うち検査所指定ホテルで3日間)	
フィリピン	10日間 (入国5日目のPCR検査の陰性結果が出るまで政府指定ホテルで隔離。残り期間は同ホテルか自宅で隔離) ※2	14日間 (入国7日目のPCR検査の陰性結果が出るまで政府指定ホテルで隔離。残り期間は同ホテルか自宅で隔離)	14日間 (うち検査所指定ホテルで6日間)	

※出所:NNA記事から抜粋

### <日本国・タイ国の入国規制状況/航空便運航状況>

東京（羽田・成田線）以外の関空・中部空港などへの便が再開しています。

各社、運航を徐々に開始しております。また、1年間禁止されていたスワンナプーム空港でのお乗り換えも可能となりました。

【日本航空】9月時点 バンコク発のみ週3~4便にて運航（従来は毎日4便） ※日本→バンコク線はタイ政府が設定した Semi commercial Flight に基づき運航

【ANA】9月時点 バンコク発のみ一部運行 ※日本→バンコク線はタイ政府が設定した Semi commercial Flight に基づき運航

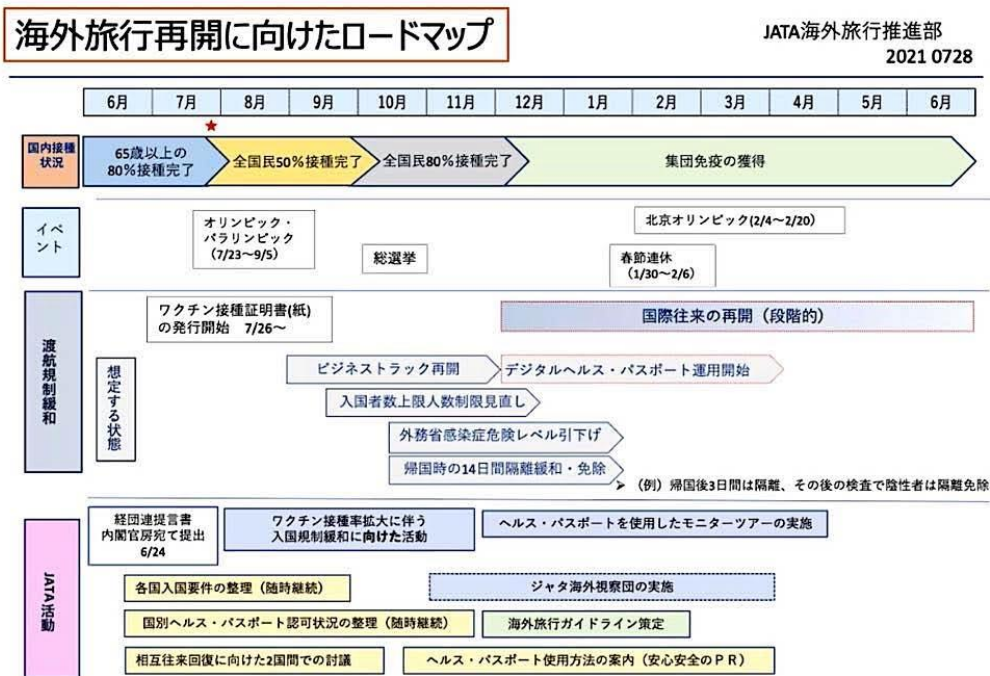
【タイ国際航空】9月時点 バンコク発のみ一部運行（成田発・関空発・中部）

【ZIPAIR TOKYO】9月時点 就航一周年

### <再開に向けてのプロセスロードマップ>

タイ国は、11月の受け入れ再開に向けて、コロナ防疫とワクチン接種の進行をしながら、状況を判断することになります。

また、日本国は、ワクチン接種が進んでいることから、秋口以降の日本観光受入れ再開プロセス発表に向けて、準備をしていくことが予想されます。そんな中、日本の JATA から海外旅行再開に向けたロードマップが示されました。国際往来の再開ということで、訪日再開プロセスの参考になるものかもしれません。



Copyright © 2021 JATA All rights reserved.

### <タイ国の訪日関連エージェントの状況>

訪日観光以外の物販販売を営むことで、凌いでいる模様です。現在、アメリカ観光など再開した旅行販売を行っているエージェントもあります。

### <タイ国民主化運動の活性化デモ状況>

8月以降、継続したデモ活動が行われています。しかし、昨年行われた「若者層中心の草の根デモ」から「政権闘争を目的としたデモ」に変容しつつあり、若者の関心は離れています。少数化・先鋭化している傾向があり、警察との衝突が繰り返されています。報道量は少ないです





訪日タイ人の2021年人気観光地ランキング発表、コロナ禍でも日本の新スポットへの関心の高さが明らかに  
やまとごころ 2021.06.23

コロナ禍前の2019年に日本を訪れたタイ人観光客は131万人で、訪日タイ人は増加傾向にあった。旅行需要回復後、その傾向が継続されることが期待される中、訪日タイ人向けプロモーションを提供するアジア・インタラクティブ・サポートが、日本に関心のあるタイ人に「タイ人の訪日旅行に関する意向調査」を実施し、「訪日タイ人の人気観光地ランキング2021」を発表した。

順位	スポット名	昨年順位	変動
1	富士山	1	-
2	東京ディズニーリゾート	3	↑1
3	白川郷	2	↓1
4	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	4	-
5	河口湖	5	-
6	大阪城	7	↑1
7	浅草寺	6	↓1
8	上高地	7	↓1
9	東京タワー	9	-
10	東京スカイツリー	20	↑10
11	銀山温泉	17	↑6
12	清水寺	11	↓1
13	姫路城	15	↑2
14	伏見稲荷大社	19	↑5
14	松本城	37	↑23
16	ファーム富田	58	↑42
17	金閣寺	16	↓1
18	由布院温泉/湯布院	14	↓4
19	立山黒部アルペンルート	13	↓6
20	国営ひたち海浜公園	28	↑8
21	嵐山の竹林	28	↑7
22	日本アルプス	9	↓13
22	元乃隅神社	43	↑21
22	海遊館	32	↑10
22	ガーラ湯沢	12	↓10
22	厳島神社	58	↑36
27	河内藤園	26	↓1
28	ジブリ美術館	32	↑4
29	サンリオピューロランド	43	↑14
30	明治神宮	37	↑7
30	青山剛昌ふるさと館	43	↑13
30	小樽運河	17	↓13

順位	スポット名
33	皇居
33	富士急ハイランド
35	別府温泉/別府
35	札幌雪まつり
37	沖縄美ら海水族館
38	上野公園
38	草津温泉
40	鳥取砂丘
41	嵯峨野トロッコ列車
41	八方池
41	錦帯橋
44	キロロリゾート
44	黒門市場
44	熊本城
44	高千穂峡
44	渋谷スクランブル交差点
49	藤子・F・不二雄ミュージアム
50	広島平和記念公園
50	五箇山合掌の里
50	白い恋人パーク
50	奈良公園
54	地獄谷野猿公苑
54	阿蘇山
54	蔵王温泉スキー場
57	城崎温泉
57	江ノ島
57	松江城
57	東大寺
57	富士五湖
57	住吉大社
63	宝川温泉
63	乳頭温泉 鶴の湯温泉
63	首里城

順位	スポット名
63	別府ロープウェイ
63	GUNDAM FACTORY YOKOHAMA
63	只見線
69	砕氷船網走
69	アメ横
69	青い池 美瑛
69	天橋立
69	端島(軍艦島)
69	祇園
69	香嵐渓
69	宗谷岬
69	旭山動物園
69	小原四季桜
69	あべのハルカス
69	船岡城址公園(白石川堤一目千本桜含む)
69	黒川温泉
82	忍野八海
82	道頓堀戎橋グリコサイン
82	伊賀流忍者博物館
82	弘前城
82	白谷雲水峡
82	有馬温泉
82	奈良井宿
82	名古屋城
82	天保山大観覧車
82	水のきれいな村
82	太宰府天満宮
82	二条城
82	桜島
82	ラグーナテンボス
82	花夢の里
82	カップヌードルミュージアム

愛知県はコロナ禍でも中国・東南アジアからの観光客誘致

アセアンポータル 2021年10月13日

愛知県は、中国・東アジア・東南アジアからの観光客誘致を行うため、これらの地域への情報発信を行う事業を実施する業務委託先の募集を開始した。

愛知県の見解によると、2020年以降、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、インバウンドを始めとする観光需要は激減しているとしている。そのため、愛知県が事務局を務める東海地区外国人観光客誘致促進協議会愛知・名古屋部会では、今後は新型コロナウイルス感染症の収束後、訪日旅行の再開が早いとみられる東アジア及び東南アジアをターゲットとした情報発信を行う『在住外国人を活用した招請事業及び中国市場向け OTA による情報発信事業業務委託』を実施することを決定した。

### 【データ】海外旅行先としての日本の競争力

観光経済新聞 2021年9月23日

ターゲット市場での日本の強み、弱み把握し、インバウンド施策を

公益財団法人日本交通公社は6日、コロナ収束後の訪日インバウンド市場再開に向け、海外旅行先としての日本の競争力を確認するために、「海外旅行先としての日本の競争力」レポートを発表した。韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの12カ国・地域別に訪日外国人旅行者を誘致する際に、日本にとって競合となる国・地域を市場別に分析した。その結果、日本の魅力としては、「食事」「観光地・観光施設」「宿泊施設」「ツアー・アクティビティ」が多くの市場で高く評価されている。同財団は「ターゲット市場における日本の強み、弱みを把握して施策に生かすことが重要」と指摘する。

### タイ、入国者への隔離措置を免除 11月から「低リスク」10か国対象

訪日ラボ編集部 2021年10月13日 2021年10月13日

ワクチン接種済みや陰性を条件、外国人旅行者の受け入れ推進を訴え

プラユット首相は10月11日の20時30分（現地時間）に「Television Pool of Thailand」で放送された国民への演説で、入国者に課していた入国時の隔離措置について、11月1日より取りやめる方針を明らかにしました。

### 先手必勝で訪日客獲得へ 福島県が10月にも欧米に現地窓口 コロナ収束見据え

福島民報 9/27(月) 9:24 配信

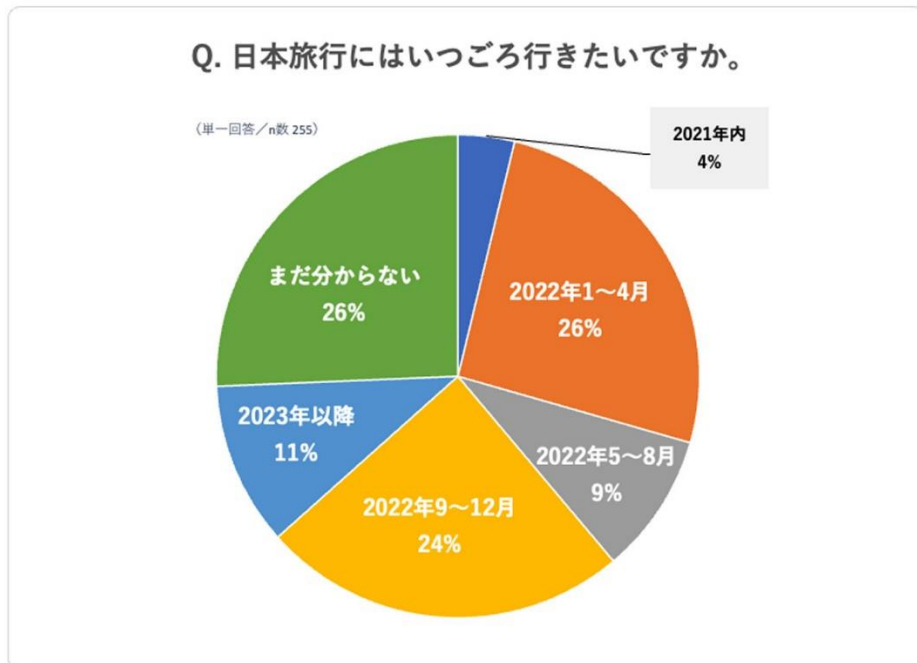
福島県は新型コロナウイルスの収束後を見据え、インバウンド（訪日外国人客）の誘客強化に乗り出す。10月にも新たに米国、オーストラリア、英国、フランス、スペインに現地窓口を設置する。各国で旅行関係の商談会に参加するほか、復興の現状、観光資源の魅力を発信する。近隣県に先駆けて欧米に拠点を設け、早い段階から新規旅行客獲得に取り組むことで福島県の観光回復につなげる。県は2016（平成28）年10月、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故発生後のインバウンド誘客や県産農産物の風評解消などを目的に海外の現地窓口を台湾、タイ、ベトナムの3カ国に初めて設置した。

### タイ人の訪日旅行・意識意向調査 2021「ラーメン食べたい、お菓子が欲しい」

タイランドハイパーリンク 2021年9月27日 配信

コロナ後に向けて株式会社JMYSとタイのTetelic社は共同で、タイに住むタイ人を対象に、訪日旅行・意識意向調査アンケートを実施し、その結果を発表しました。なお調査は、Tetelic社保有の訪日情報発信 Facebook「[OhHotrip.com](https://www.facebook.com/OhHotrip.com)」および、日本に興

味のある会員約 700 名のプライベートグループ、タイ人富裕層向けメディア「[HisoJapan.com](http://HisoJapan.com)」メルマガ会員を対象に、2021 年 8 月 11 日から 2021 年 8 月 31 日に実施されました。



**タイ、11月1日からの開放エリアは15都県に拡大へ**

アジアトラベルノート 2021/10/15

タイでは11月1日より対象国を限定した上でワクチン接種済みの外国人旅行者を受け入れますが、開放されるエリアについては当初予定の10都県から15都県へ拡大することを政府が明らかにしています。

**タイ国際航空、12月から日本路線をさらに増便 成田～バンコク線はデイリー運航に**

アジアトラベルノート 2021/10/14

タイ国際航空(Thai Airways International)は、今年12月以降の運航計画を更新。成田～バンコク線及び関西～バンコク線をそれぞれ増便することを明らかにしています。

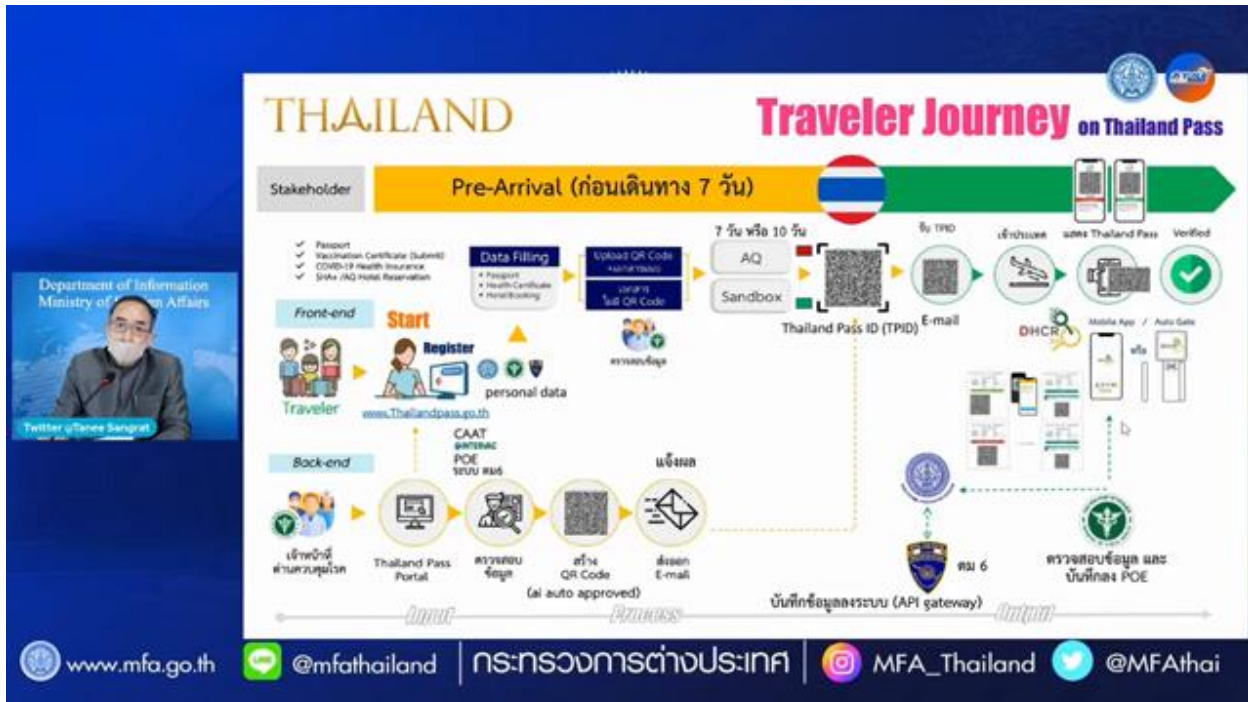
先月発表された冬スケジュールの計画では成田線は週4便の予定でしたが、新たに12月1日からはデイリー運航へとさらに増便することを決定。関西線についても12月7日から週6便に増やすとしています

**タイ、入国許可証(COE)に代わりタイランド・パスを導入予定**

アジアトラベルノート 2021/10/14

タイ政府は11月1日からの外国人旅行者受け入れに関連して、現在事前取得が必要となっている入国許可証(Certificate of Entry: COE)に代わる新たなシステム、タイランド・パス(Thailand Pass)を導入すると明らかにしています。





シンガポールとタイ、外国人観光客受け入れ条件・対象国を比較

アジアトラベルノート 2021/10/13

シンガポール まずはシンガポールから。観光目的でも入国できるのは以下のいずれかに当てはまる国・地域からの旅行者。現時点では日本は対象外。感染リスクが最も低い国・地域（カテゴリー1） 台湾、中国、香港、マカオが該当。シンガポール到着時のPCR 検査で陰性であれば隔離無しでの入国が可能。ワクチン接種の有無は問われず、また出発前の検査も不要と条件は緩め。但し、現在対象となっている4カ国・地域はいずれも帰国時に厳しい隔離措置を課しているため渡航者は多くないのが実情。ATP Requirements & Process – SafeTravel ワクチントラベルレーン(VTL)に指定された国・地域 現時点ではドイツとブルネイが該当。10月19日からはアメリカ、カナダ、イギリス、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、デンマークが対象となり、さらに11月15日には韓国も追加。条件はワクチン接種完了済み、出発前及び到着時のPCR 検査、渡航はVTL 専用フライトに限定。Vaccinated Travel Lane (SC/PR) – SafeTravel タイ 国・地域は問わずワクチン接種者であればプーケット及びサムイ島で隔離無しでの入国が可能。出発前及び到着時の検査及び事前の入国許可証(COE)の取得が必須。プーケットは国外からの直行便限定、サムイ島はバンコクから専用フライトで入島が可能。11月1日からは低リスク国・地域を対象に、ワクチン接種済みの旅行者をバンコクなどでも受け入れる予定。

タイ、11月1日からの外国人旅行者受け入れは低リスク国・地域に限定

アジアトラベルノート 2021/10/11

タイのプラユット首相は本日テレビ演説を行い、今後の外国人旅行者受け入れ日程について言及しています。それによると、11月1日から隔離無しで受け入れを開始するのは低リスク国・地域のワクチン接種済み渡航者に限定。対象国はイギリス、シンガポール



---

ル、ドイツ、中国、アメリカを含む少なくとも 10 カ国としています（この 5 か国以外については今後発表。現時点では日本が含まれるのかは不明）。

その後は、12 月 1 日、来年 1 月 1 日と段階的に対象国を拡大し、より多くの旅行者が隔離無しで入国可能になるとのこと。